

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和5年度第1回津市図書館協議会
2 開催日時	令和5年8月10日（木） 午後2時30分から午後4時まで
3 開催場所	津図書館 2階視聴覚室
4 出席した者の氏名	（津市図書館協議会委員） 安部 彰、伊藤 好幸、入江 知子、岡山 公英、 岸 富喜、木原 剛弘、林 佳織、洞口 正子、和気 尚美 （事務局） 教育長 森 昌彦 教育次長 小宮 伸介 教育研究支援課担当主幹 天田 章子 津図書館長 米山 浩之 津図書館管理担当主幹 佐野 隆之 津図書館奉仕担当主幹 山口 理絵 津図書館奉仕担当主幹 中澤 利美 津図書館主査 鏡 凌太
5 内容	1 あいさつ 2 委員紹介（自己紹介） 3 会長選出 4 報告事項 （1）令和4年度事業実績について （2）令和5年度事業予定について （3）亀山市立図書館の視察について （4）図書館利用に関するアンケートについて
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	教育委員会事務局津図書館管理担当 電話番号 059-229-3321 E-mail 229-3321@city.tsu.lg.jp

議事の内容 下記のとおり

<事務局>

お待たせしました。定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第1回津市図書館協議会を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の進行につきましては、事項書3の協議会の会長、副会長が選出されるまでの間、私が務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは開催にあたり、教育長からご挨拶を申し上げます。

教育長

皆さんこんにちは。大変お忙しい中また、天候が非常に不安定、いつ雨が降るのか、風も非常に強いという中、やや暑さは先日立秋ということであったのですが夏はまだ続くと思うのですが、そのような中ご参集賜りましてありがとうございます。実は前回の協議会の中で若者とかもっと図書館に人に来てもらうためにということで、実は亀山の図書館をご紹介いただいたので、さっそく私と担当とで行かしていただいたのですが、亀山市のまちづくりの一環として駅前に非常に素敵な図書館、コンパクトなんですけど非常に素敵な図書館ですね、結構図書館で静かにということではなくて、子供たちも好きにしゃべったりしてもいいようなスペースもあったりして、また従来の図書館のように静かにするスペースにきっちと分けられていて、またあとで紹介があると思いますけど、非常に素敵な施設でした。

私、先日福井県の敦賀に個人的な用で行かせていただいた時に、もうすぐ北陸新幹線が終着駅としてできますけど、その駅前に非常に素敵な本が買える公設民営の地域啓発施設「ちえなみき」というのですが、図書館ではないですけど、本を自由に読める、買うことも出来て1階には喫茶的なこともできて本も読める、2階行きますと、親子で絵本、かがくいひろさんの「だるまさん」のコーナーもありまして、小さな子連れのお母さんたちも結構いたり、ウチのところでは若い子たちが結構勉強したり本読んだり、とにかく若い子たちがたくさんいる非常に現代的な施設でした。何を申したいかといいますと、図書館というものも変わっていかないといけないなと思ひまして、津市にそのような施設がすぐにできるかとはそれはまた非常に難しい、ちょっとハードルが高いことではあるのですが、じゃあ何ができるのか、特に若者たちを図書館にもう少し来てもらうためにはどうすればいいのか、津市の図書館要覧の14ページなんか見ていただくとですね、貸出者の登録者数が書いてありますけど、やっぱりこれを見ると歴然とした事実として、例えば小学校とかは意外とそれなりの登録者がいるのですが、中学校高校、もう少し若い世代になるとやっぱりぐっと登録者数が減っている。登録者数があるからどうってことではないですけど、やっぱり図書館って遠い存在なんだなって考えたときに、こういった若者たちあるいは、小さなお子さん連れの方々、そういった方がもっと気軽に図書館に来れるような、そういうことをするにはどんなことができるんだろうかというようなこと、担当も今いろいろなどところを見学して、何ができるかなと一生懸命一緒に考えているのですが、またそういったことについてご意見、こういうこと工夫した方がいいんじゃないってことがありましたら、ご意見をいただけると非常にありがたいなと思っております。

いずれにしても、子供やお子さんを持つ方だけでなくほんとに市民多様な幅広い方々、ニーズも様々だと思いますので、そういったさまざまなニーズに答えられるように図書館サービスの向上に努めてまいりたいなと思っておりますので、貴重な意見をいただ

<事務局>

けたらなと考えております。本日はよろしく申し上げます。
ありがとうございました。

続きまして事項書2 委員紹介に移らせていただきます。お手元の津市図書館協議会委員名簿をご覧くださいと思います。

昨年度会長を続けていただいた、堀内委員、佐野委員がご退任されましたので、新しく岡山委員、林委員に委員をお願いしております。それでは自己紹介をお願いしたいと思います。

岡山委員

津市立栗真小学校長の岡山と申します。よろしくお願いいたします。

林委員

津市立芸濃小学校の教諭の林佳織と申します。よろしくお願いいたします。

<事務局>

続きまして前年度に引き続き今年度も申し上げます、津市図書館協議会議員の皆さんをご紹介させていただきます。前年度からの引継ぎとなりますのでお名前だけのご紹介とさせていただきます。安部彰様、伊藤好幸様、入江知子様、岸富喜様、木原剛弘様、洞口正子様、和気尚美様です。

次に、今年度の当協議会事務局の職員を紹介させていただきます。まず、教育長の森でございます。教育次長の小宮でございます。教育研究支援課担当主幹の天田でございます。津図書館長の米山でございます。奉仕担当主幹の山口でございます。同じく中澤でございます。図書館管理担当の鏡でございます。最後に私、図書館管理担当佐野でございます。今年度から津図書館に配属されました。どうぞ皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。以上で紹介を終わります。よろしくお願いいたします。

ここで、本日の出席者数をご報告いたします。委員10名中、9名の方が出席いただいております。よって、津市図書館協議会条例第5条の規定による、会議成立の条件である委員の半数以上の出席を満たしておりますので、当会議が成立していることをご報告申し上げます。また、この会議につきましては津市情報公開条例第23条により、これを公開としております。

同様に、会議録につきましても、後日公開をいたしますことから、ご覧のとおり会議内容を録音しております。よろしくご了承賜りますようお願い申し上げます。なお、本日の傍聴者は、ございません。

配付資料の確認をいたします。事項書、協議会委員名簿、事務局職員名簿、津市図書館要覧 令和5年度版、資料1 令和4年度テーマコーナー資料展示とようこそ図書館へ31号、資料2 令和5年度津市図書館行事予定一覧とみんなのPOPづくりコンテスト[募集要項]、資料3 亀山市立図書館について、資料4 津市図書館利用者に関するアンケートです。

続きまして、事項書3の会長の選出をお願いしたいと思います。昨年度まで会長を務めていただきました堀内会長が退任され、不在となっております。お手元の「津市図書館要覧」4ページの「津市図書館協議会条例」をご覧くださいと思います。第4条で「協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。」とされております。会長の選任につきまして、いかがいたしましょうか。

事務局の方から推薦させていただいてもよろしいでしょうか。

それでは、皆様方の御理解をいただけたということで、事務局から会長を推薦させていただきたいと思いますが、堀内委員の後任であります岡山委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

異議なし。

ありがとうございます。それでは、会長の岡山委員には、席の異動をお願いいたします。

議事に入ります前に、会長の岡山委員に一言ご挨拶をお願いしたいと思います。岡山様よろしく申し上げます。

岡山会長

失礼いたします。ただいま会長に指名されました津市立栗真小学校長の岡山でございます。委員の皆様には公務等お忙しい中、第1回津市図書館協議会のご出席いただき誠にありがとうございます。また、平素は津市図書館の運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。ここからは着座にて失礼します。

さて、本校においても図書館司書や図書館ボランティアによる図書室の環境整備から読み聞かせなどを行っていただいております。本好きな子供たちを育てるためには、本を読むための時間の確保それから、魅力ある図書の選定などが必要ですが、やはり本を読みたくなるような環境作りが大切であると考えております。また、読み聞かせを通してなど、大人が本を読んで楽しいという姿を子供たちの前で継続的に見せることも大切であると考えております。学校においてはそういう視点を持ちながら取り組みを進めていきたいと考えております。津市の図書館においても誰もが利用しやすい、したくなる図書館を目指し取り組みをしていただいております。さらにより良い図書館になることを目指すためにも、限られた時間ではありますが協議会において委員の皆様から活発なご意見がいただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

<事務局>

ありがとうございました。それでは、事項書4以降の議事の進行につきましては、会長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

岡山会長

それでは、事項書に沿って進めていきたいと思っております。

まずは、事項書4 報告事項(1)の令和4年度事業実績について、事務局の方から説明をお願いします。

<事務局>

恐れ入ります。座って説明をさせていただきます。

それでは、令和4年度の事業実績につきまして、令和5年度版津市図書館要覧に沿って説明をさせていただきたいと思っております。

5頁をご覧ください、13頁までが図書館資料の統計資料になります。

5頁から6頁が、蔵書冊数となります。一般書、77万3,751冊、児童書、35万641冊、合わせて112万4,392冊、※昨年比較 一般書77万2,064冊、児童書34万8,227冊、合計で112万291冊となっています。

次に、7頁をお願いします、(2)特別集書、市内の篤志家の方々からご寄贈いただきました古文書等の一覧となります。整理が済んだものにつきましては、目録が作成しており、閲覧することができます。市外、県外の方からも閲覧にみえる方があり、広く活用されております。目録のホームページ掲載は、稲垣文庫のみです。令和5年3月末現在 画像1,506点、目録304件を登録。ホームページへのアップロードは未実施です。随時登録していく予定です。

(3)はCDやDVDなどの視聴覚資料でございます。令和4年4月1日以前は23,264点でしたが、令和5年4月1日現在24,413点の所蔵となっており、1,149点の増となっています。

次に8頁から13頁までは、雑誌・新聞の所蔵状況と保存年限の一覧となっております。雑誌につきましては、休刊廃刊等もありま

して、年度途中での件数の変化もございます。新聞についても保存年限を決めて保存しております。

次に 14 頁をお願いします。地区別貸出登録者数でございます。

こちらは令和 4 年度中に図書館資料を借りていただいた方の人数になります。登録はしていただいておりますが、1 年間ご利用がなかった方はこちらには挙がっておりません。

市内在住の方が 23,480 人、市内在勤・在学の方を合わせますと、23,914 人の方にご利用いただきました。昨年度は市内 22,986 人、市外 455 人、合計 23,441 人でしたので、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着き回復傾向にあると思われます。

そして、その利用者の方を年齢別に分けたのが、その下の表になります。区分は、未就学児、小学生、中学生、高校生、大学生、それ以降は年代別となっています。

次に 15 頁から 19 頁までは利用状況となっております。

15 頁から 16 頁は分類別貸出冊数で、一般書の貸出冊数は 71 万 2,278 冊、児童書は 48 万 9,682 冊、合計で 120 万 1,960 冊の利用がございました。昨年度と比較しますと、一般書 689,559 冊、児童書 465,346 冊、合計 1,154,905 冊となっております。

17 頁は、曜日別貸出冊数の一覧となっております。土曜日・日曜日に多く御利用いただいていることがわかります。

次に 18 頁をお願いします。こちらは個人利用と団体貸出の利用状況となります。合計で 125 万 1,558 点の利用がございました。昨年度と比較しますと合計は 1,200,793 点、内訳は一般 689,559 冊、児童書 465,346 冊、視聴覚 19,268、団体 26,620 となっております。

19 頁をお願いします。

団体貸出は、学校、児童や高齢者施設などの団体に対して 1 か月間貸出する制度です。

郵送貸出につきましては、来館が困難な障がい者の方に対して、郵送でやり取りする制度になります。

また、相互貸借は、津市図書館に所蔵がなく、提供できない場合に、市外・県外の図書館と本の貸し借りを行っているものです。令和 4 年度は他の図書館から 3,060 冊借り受けし、津市図書館から他の図書館へは 5,999 冊を貸し出しています。中段はリクエストなどになります。冊数は図書館に所蔵していない本を市民の方からリクエストをいただき購入した冊数です。予約・リクエスト件数は、お越しいただいた図書館ですでに借りられていたり、購入前であったりする本について予約またはリクエストしていただいた件数です。こちらには、1 冊の本に対して複数名受付した場合を含めすべての件数をカウントし集計したものです。次がインターネット端末の利用件数、複写利用数でございます。ちなみに昨年度の借受は 2,376 件、貸出 4,409 件、全体 6,785 件でした。

20 頁は、各種指数でございます。（５）の市民一人当たりの館別蔵書冊数があり、津市全体の市民一人当たりは 4. 1 冊となっています。

21 頁をお願いします。過去 5 年間の推移です。平成 30 年度から令和 4 年度までの 5 年間の蔵書冊数・個人貸出点数・団体貸出点数の推移でございます。

蔵書冊数が増減しておりますのは、各図書館所蔵する場所がすでにいっぱいになっていることから、新たな図書資料を入れるために、除籍作業を行って購入することによるものです。令和 4 年度

は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためのマスクの着用などの基準が見直され、コロナ禍前の水準には戻っておりませんが、個人貸出点数は回復の傾向にあります。

次に 23 頁は社会見学、職場体験等の受入状況です。子どもたちにとって図書館を知っていただく機会になっています。

今年の社会見学は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、十数名ずつの少人数グループに分けて時間差をつけ案内するなど密にならない工夫をし、実施しています。中学生の体験学習は 2 校を受け入れております。

次に 24 頁から 27 頁までは、行事等で、図書館主催事業で行いましたおはなし会や講座などの行事の実績でございます。各図書館において、定期的におはなし会を行いました。3 月にマスク着用の基準が見直され、図書館でもマスクの着用は個人の判断に任せることとなり、おはなし会での連絡先の記入等もお願いしないことになりました。

また、おはなし会や各種講座、イベント以外に、資料 1 の「令和 4 年度テーマコーナー・資料展示」をご覧ください。各館毎に図書や図書館に興味を持ってもらえるような展示を行っています。

要覧に戻りまして、28 頁は、図書館での行事等にご協力をいただいているボランティアグループの紹介でございます。たくさんのボランティアの方々に支えられていて、本当にありがたく感謝しています。

次に、30 頁・31 頁は図書館協議会等の事業活動の報告となります。図書館協議会につきましては、8 月と 2 月の 2 回開催いたしました。

また、子ども読書活動を推進するため、会議を開催するとともに POP づくりコンテストを実施しております。たくさんの方にすすめてほしい本を文やイラストで表現したポップが 818 点集まりました。ポップを作る過程で、応募者が本を読むきっかけとなりました。また、図書館ではポップとともに本を展示したところその本の貸し出しがよく見られました。さらに市内の書店でも受賞作品の展示をしていただき、POP コンテストについても知っていただく機会となりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として行っていた換気や窓口へのアクリル板等の設置、窓口床面の立ち位置表示は引き続き行っていますが、椅子・ソファについては以前の配置に戻したり、おはなし会の一部を 2 階のお話の部屋で開催するようにコロナ禍以前の運用に戻しているところがあります。

以上で、令和 4 年度の事業実績等の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

岡山会長

はい、ありがとうございました。令和 4 年度の事業実績についての報告が終わりました。たくさんございますが、どこからでも結構です。ご質問、ご意見等よろしくお願いいたします。

はい、岸さん、お願いします。

岸委員

まっじくぼくすの岸と申します。よろしくお願いいたします。

36 分 33 秒

意見としまして先ほど教育長さんの方からお話がありましたけれども、10 代の中学生以上の方の利用登録が少ないということで、やはり私がちょっと考えるのに申し訳ないですけど、小学生までのお子さんという保護者の方が連れてみえたり、中学生以上になりますと足があったりするんですけど、公共交通機関を利用するとか自転車で来られる範囲の方はいいんですけども、公共交通にしても

ちょっとバスが数が少なかったりと、どこの施設に関してもそうなんですけれども非常によくはないというのが一つあるのではないかと。

実際、中学生高校生にどれだけ図書館に親近感がわくのかとか、なにがあると図書館に向かうことができるのかとか、実際のアンケートなりを行われたりとかはあるのでしょうか。

街なかの本屋さん、大手の都市の方では図書館と飲んだり食べたりとか、本を探しに来て飲食もできる所が増えてきています。

実際の公共の図書館でどれくらいそれが許されるのかという範囲はあると思うんですけど、そういう身近なものと図書館が併設されていると近づきやすいのではと思ったりしますし、中学生以上の方は特にSNSとかでいうのを見事に利用されますので、図書館とのうまく言葉では言い表せないですけども、そういったことを取り込んだり発信したりする使い方が、もう少しできるといいのかなと思ったりします。

思いついたことをばらばらと言っただけなので申し訳ないんですけども、ご意見をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。

岡山会長

ありがとうございました。

<事務局>

事務局の方でしょうか。

確かにこのリージョンプラザでもお城ホールの前の所に集まっている子供たちを取り込めたらいいなと思っております。またSNSとかソーシャルネットワークの発信っていうのが、今までホームページでは随時発信していますが、まだ充分ではない感じがします。そういうところは力を入れていきたいと思っております。

岡山会長
岸委員

はい、岸委員どうぞ。

それとですね、読み聞かせをしているんですけど、図書館さんからも紹介していただきますが、グループで発信ができたらいいなと思っているんですけども、そういうやり方を知らないというか、色んな事件もありますし、なかなか自分で解決して発信するという行為というか、そこまで至らないですね。

そういうこともボランティアグループに対しての働きかけというか、なんて言うのかな、自分たちからの図書館さんをあてにした設定ではなくて、自分たちでなにかこう発信ができる方法があればと思っているんですけど、そういう勉強や研修など教えていただくなりしていただけるとありがたいと思っています。

岡山会長
<事務局>

その辺については、どうですか？

読み聞かせの会の方が、たくさんみえますけどそういう方とは、まだ直接しっかり話しをしたことがないものですから、ご意見など直接お伺いしながら、検討させていただきたいと思います。

岡山会長

先ほどの岸さんのお話を聞きまして中学生高校生がやはり図書館へ足を運ぶ人数が少ないということで、アンケートというか、実態がもしあればということだったんですけど、改善していくためには例えば中学生・高校生に魅力のある図書館というのは、一体どういう図書館なのかあるいは、身近なものとはどういうものなのか。実際の生の声を知ることによって、それが分かればその方向で行くと伸びてくる可能性もあると。

分からないまま色んなことに、どこが壁になっているのかを明らかにしていく取り組みもあればという風に思いました。

それからお話しのことなのですが、本校でも一部入っていますし、以前の学校でもやはり学校としては、前々からお世話になっているグループからの連絡は毎年あるけれど、この一覧表、こんな

入江委員

にもたくさんお話のグループがあるのだなとはじめて知った訳なので、その辺のところも、まだお話しの会や団体さんと呼んでいない学校もあるかもわからないですが、何らかの方法で呼びたい時に呼べるそういうシステムというか、そういう連携ができるようなものが構築できるといいなと学校側からは思いました。

その他どうでしょうか。

ちょっと岸さんとは逆のパターンかもしれないですけど、私は今、中学校1年生と高校1年生の子供がいるんですけど、5年前にこちら津市に引っ越して来てから小学校の頃はよく通ってたんです。その時には本の冊数にすごく驚いて、子どもたちだけでも行きたいという図書館だったんです。

ところが、中学生高校生に上がるにつれて部活動が忙しくなってしまうと、回数が減ってきました。あとはテスト前にこちらを使わせていただいたことが多いのですが、テスト前とかですと入口の方にすごく並んで席取りが、もうすごいという話を聞いているので、もし中学校高校で伸びるというのはちょっと難しいのかなと、子どものいる立場としては思いました。

ただこちら勉強の場としてはすごく環境のいい場所ですので、これから自習の場所として広く活かしていけたらと、あとは小学校・中学校・高校と学校の図書館が充実しているので、今日は学校で借りてきたから今週は図書館へ行かないわということがありました。

ただ魅力ある図書というか蔵書の方は素晴らしいですので、是非このまま津図書館の方は魅力を上げていただけたらなと思います。以上感想となりますが。

岡山会長
<事務局>

ありがとうございます。

ありがとうございます。確かに学習室の方はテスト前とかはですね、大変多くの方にご利用頂いています。場合によっては入りきれない場合もありますので、可能であれば、その隣の会議室も開放して提供していきたいと思いますので、ご利用いただきたいと思います。

岡山会長

ありがとうございます。

小学校中学校高校とそれぞれ図書館があるので、上手に考えていけばそれらの図書室とはまた別の魅力というか、そういう部分の推しを公共図書館の方に何か工夫していただくと、もしかしたら多少は増えるのかなという部分と、やっぱりお休みの日は学校の方が使えないので、そういったときにでも来た子どもたちが利用できるようなキャパとか、先ほど入江委員さんの方から言っていたようにして頂けるとありがたいと思います。他どうでしょうか。

木原委員

PTA 連合会の木原です。

いつもお世話になっております。

子どもの読書離れという話は、毎回この会議にも上がっていると思います。色々な企画をしてくださっているのはすごくありがたいと思います。

この前の会議で言ったかも知れないんですけど、読書離れがそのまま学力の低下につながるという部分があるんじゃないかということはPTAとしては危惧をしております。

今年度の学力調査・学習調査も図書館に行かない人も三重県が全国平均を上回っていて、津市の状況としてもたぶん一緒なんだろうなと思っています。

本に触れる触れないという質問に関しても、残念ながら触れない

という人の方が三重県の数字は高くなっています。学校図書館も公立図書館も含めて子どもたちが利用する頻度が減ってるんじゃないかなと思います。

読書習慣について、小学校さんが読書の時間をとっていただいて活動していただいているということも聞いているんです。

それがやっぱり中学校高校になると忙しいせいだと思うんですが、なかなか継続して読書というふうにはならないという現状は、どんな施策をしてもきっと変わらないんじゃないかなと思って。

亀山市さんの図書館の在り様とかも踏まえた上で、津市として図書館の在り様とか、津市がどうやって子どもたちが本に親しんでいく、本を読むことの楽しさを本当に理解するかということ、たぶん図書館だけではなくって学校教育も含めて、全体としてどういう風に取り組んでいくか考えていかないと、図書館のことだけではそもそも図書館に来ないので、伝わらないんじゃないかなって思っています。

今年どうする来年どうするではなくて、ちょっと長いスパンを見ながらどうあるべきかを考えていく時期に来ているのじゃないかな、という風には思います。

感想ですのでどうぞ参考にしてください。お願いします。

安部委員

はい、看護大学の安部です。蔵書と貸出の統計の方をちょっと拝見していて、要覧ですね、5P、6Pが貸出件数のところなんですけど、ただ児童書ですね、やっぱりというか、絵本は人気なんですよ。

これ別に津の図書館だけには限らない現象だと思うんですけど、単純に蔵書の件数と絵本に関して、それぞれの図書館の津から美杉まで、蔵書の件数と貸出冊数を見比べていると、河芸から美杉ぐらゐまでの、ごめんなさい、さっき5、6Pと言いましたけど蔵書ですね、貸出が15、16Pですね。

絵本の所を見ているんですけど、例えば河芸の蔵書が約13,000冊、貸出が31,000冊、こうやって単純に見比べていると、

河芸から安濃まで絵本の貸出の冊数、蔵書の冊数と比べると多いというか、比較することは意味ないんですが、蔵書って同じ人気の本が何回も借りられたりするでしょうから、蔵書数と比較することはあまり意味がないんですが、ただ単に何かそこにある本と、キャパと利用の頻度みたいなイメージがつかめるかと思ってちょっと見ていたんです。

それで何が言いたいかというと、割とだから河芸とか芸濃とか、絵本がとても人気で利用が多くて、それに対して利用者の方々には満足しているのかなとか、借りたい絵本が十分に借りれているのかで、なんかその辺でもう少し実は、順番待ちとかをしていけば借りられるような状況なのか、みたいなことでどういような現状とニーズがあるのかな、ということをやっと思いました。

その上でアンケート拝見していて、最後の意見要望で特になんか赤ちゃんの絵本がほしいとのコメントがありますけど、特に今借りたい絵本が借りられてないとか、声として上がってないんで、困ってないのかなとか思ったんですが、絵本に関して利用の現状だとか、ニーズに対してサービスがどのような関係にあるのかとか、図書館の方でどういう認識を持たれているのか、というのを良かったら教えてください。

岡山会長

事務局の方で何か答えられることがあれば教えてください。はい、お願いします。

<事務局>	絵本に関してのご意見ですね。特にお声をいただいたりということはないのですが、先程言われたアンケートにもありますようなことですね。
安部委員	津図書館は、書庫に今置いてある絵本というのを一旦カウンターに申請していただかないと見ることができないし、もう少し自由に見たいとか、たくさん見たいとか、教科書に載っている本が書庫にあったりとか、見たい時にない等おっしゃっていただいたことがあります。そこの部分は所蔵の場所を変えたりとかということで、対応しないといけないなというところはあります。どうしてもスペースの関係で入れざるを得ないところはあるんですが。
<事務局>	利用傾向をみると、やっぱり人気の本に集中してるみたいな感じなんですか？絵本も。
安部委員	そうですね、はい。最近はシリーズの絵本というのも多くて、1冊人気が高まりますとどんどん同じ作家さんのシリーズも多くなりまして、そちらの人気の高いと言う反響はございます。 すごい単純なあれなんですけど、一般書とかベストセラーとか大人の場合に、今この本が熱いから読みたいみたいなのがあって、群がる感じはわかるんですけど、絵本もそういう傾向があるんでしょうけど、情操教育的には色んなもののバラエティを結構求めて、わざわざ買うっていうよりは図書館でたくさんいろんな絵本を読みたい、という親御さんの思いがあるのかなとは思ったりして。 それが児童書の中でも絵本の貸出件数の多さに関係してるのかなとか思ったりしています。
岡山会長	特に今現状で利用に関してみなさん特に困ってないなら、このままでいいと思うんですけど、もう少しこうなるといいなというのがあると、どこに図書館のカラーも含めて重点的に力入れていくか、ということもベタですけどポイントみたいものになりうるのかな、と思いましたので。 僕なんの代案ありませんし、取り留めのないこと言って申し訳ありませんが、以上のようなことを思いましたので。
<事務局>	進行しながら2つ質問いいですか。 1つは書庫の中に入っている本が、なかなかどういう本があるかわからないということを一般的には思っていますが、検索すれば書庫の中にある本も出せるということでよかったですね。 あともう一つは、こういう本が欲しいとかあっても、市民の人たちが遠慮されて、今ここにある本だけで我慢してしまうということもあるんですが、例えば目安箱ではないですけどもこういう本を入れて欲しいとか、要望を出すポストみたいなものあります？
岡山会長	ポストではないですけど、リクエストという形で用紙を書いていただいて、ご準備するという制度はございます。 リクエストとかその辺をもう少し周知されると、もしかしたらもっとこういう本を入れて欲しいな、という声も上がってくるのかなと思うので。そのことによってまた閲覧数も上がってくるかな、とちらっと思いましたので。ありがとうございます。
伊藤委員	はい、お願いします。 蔵書数と貸出数ですけども蔵書についてはいいとして、貸出の方ですけどね、私個人的にはほとんど予約入れてお借りしているんです。 津市の場合は旧市町村も含めて全部、どの図書館の蔵書でもお借りすることができる、大変ありがたい話ですね。また県立図書館も近いのでそこにもリクエスト出せば本を借りられる。

	すごく使わせてもらっています。 貸出数とまとめてもらってありますけれど、必ずしもその地区の方がお借りしている数字じゃないですね。その図書館の蔵書が貸し出されていることであって、私のようにリクエストでの貸出しもそこに含まれている。 機会があったら、その地区の方がどれ位借りられているのかということ調べられた方がいいのではないかなと思いました。
<事務局>	この前協議会があった時に、中学生の子どもがどの図書館をご利用しているか、という資料をお渡しさせていただきました。
岡山会長	それと同じようなものを、分析等していきたいと思います。
和気委員	はい、お願いします。 他、どうでしょうか。
<事務局>	要覧の22Pに、図書館司書が研修講座に派遣されたと実績が報告されているんですが、貴下の職員が受けられた研修機会はどれぐらいですか？何か講習会であるとか、セミナーとかに行かれたことはありますでしょうか。
和気委員	31Pに（４）研修というのがありまして、こちらは視察研修で同じ先ほどお話のあった亀山市立図書館に行っていました。またこちらには記載しておりませんが、学校図書館の連携に関する研修などにも参加しておりました。 今のディスカッションをうかがっていて、児童サービスとか絵本の話しも出てきましたが、絵本の開架の仕方とか蔵書の冊数と回転率の関係であったりとか、その辺のマーケティングや開架の方法であったりすると、例えば日本図書館協会であるとか児童サービスとなると東京子ども図書館であるとかが、毎年研修機会を提供されているので、そういった他館の最新の事例はどうなっているのか、など学ぶ機会があると思いますので、そういった機会を利用されるといいのかなと思いました。
岡山会長	あと先ほど岸委員がおっしゃってみえた、ボランティアさんとの対話の機会や研修の機会に関してなんですけど、横浜市立図書館がかなり先進的なことをされていて、オンラインでの講習資料を公開して誰でも見られるようになってまして、読み聞かせのポイントだったり、ブックトークする時の対象年齢別に、動画にしたりPDF化したりして資料を提供しているので、津図書館の方で一から作るのには難しいかと思うんですけど、他館の先進的な事例もあるので、そういったものも活用しながらボランティアさんとのコミュニケーションをはかっていくこともできるのかなと思います。
<事務局>	事務局、どうですか。
岡山会長	ありがとうございます。 先進的な事例とかですね、調査・研究などして反映できるようにさせていただきたいと思います。
<事務局>	ありがとうございます。だいぶ時間も経ってききましたので、次の項に行かせていただきたいと思います。 次に（２）の令和５年度事業予定について、事務局の方から説明をお願いいたします。
<事務局>	失礼いたします。奉仕担当の中澤でございます。令和５年度の実業につきましてご説明させていただきます。 図書館要覧の32P 令和５年度津市図書館事業についてをご覧ください。 １の概要については今年度は教育振興議会の作成を踏まえ Web サービスの強化と内容を訂正いたしました。

次に2令和5年度の修繕目標をご覧ください。今年度は1と2が関連する内容になるためまとめてご報告いたします。

(1) 図書館利用者の要望や動向を知るためのアンケートを実施し今後の図書館情報システム更新や図書館運営に活かしていきます。

(2) IT 技術を利用した効率的な取り組みを進めます。

アンケートについては様々な年代からご意見を集めるため身近にも回答できるトーンを用意し選択しやすいよう QR コードも配置します。

レファレンスについても入力フォームを新たに設けここからも質問ができるようにします。

報告事項の(4)でもご報告いたしますが利用者の情報等の聞き取りや今後の図書館運営や図書館システムの更新に使いたいと思います。

利用者アンケートを令和5年6月21日（水）から7月10日（月）まで実施いたしました。市内図書館や公民館の窓口で用紙を配布する他、幅広い年代から回答いただくため、Web から回答できるフォームを作成し、QR コードも配布しました。前回の回答件数より多くの回答をいただいているようですので、今後の図書館運営や図書館システム更新に活かしたいと思います。現在、集計中ですが、一部の結果など詳細については、この後の（4）の方でご報告いたします。

また、図書館で受け付けているレファレンスについては、窓口や個人のメールなどから受け付けるケースがあり、窓口の場合は調べたい内容確認などが対面でしっかりと聞き取れますが、メールの場合内容がはっきりしない、文字などが違うなど再度聞き取りが必要になるケースや、レファレンスのメールかどうか判別しづらいため、回答までにお時間がかかるケースもありました。そこで、来館が難しい方や遠方の方にもご利用しやすいように、レファレンスに関する内容を受付できる入力フォームをホームページ上に用意し、そこに入力いただくことでより正確に迅速に回答ができるようにしていきたいと思います。

次に、資料2は令和5年度の行事予定一覧です。一部を紹介させていただきます。美里図書館では夏のイベントとして8月5日（土）に小学生と保護者対象の工作教室を実施しました。マジックキューブの折り紙を作りました。

津図書館では、暮らしに役立つ図書館講座として三重短期大学の先生方をお迎えし、9月9日（土）には生活科学科准教授高橋 彩氏に「自分はどんな性格なの？パーソナリティ心理学」、9月23日（土）には同科教授の木下 誠一氏に「高齢者の住まい」と題してお話いただきます。また、人気の人形劇は9月30日（土）に開催する予定です。入場者はコロナ前の人数に戻し、午前・午後の2回開催としております。

また、詳細は現在調整中ですが、久居ふるさと文学館では、12月3日（日）に三重短期大学名誉教授の竹添敦子氏による紫式部に関する講演会を、来年の1月には「図書館で学ぼう はじめての古文書」ということで古文書を読む講座を予定しています。講座によっては、コロナ禍前の定員に戻して募集しているものもあり、依然としてコロナの感染は続っていますが、様子を見ながら以前のように自由に楽しめる雰囲気の中で講座を開催できるようにしていきたいと思います。

最後にみんなの POP づくりコンテストの資料をご覧ください。今

年度のみんなの POP づくりコンテストは 9 月 8 日（金）までの日程で作品を募集しています。募集要項の内容については昨年度と変わりはありませんが、ふりがなを振ったものと小学生向きのやさしい表現に変えたものを用意し、配布しました。また、本に出てくるキャラクターなどを描いてしまうことで著作権の関係から選外になってしまう子が多かったため、資料裏面のように POP に書いて欲しい内容とダメな例を作成し、分かりやすくしました。

審査は、図書館職員での 1 次審査終了後、2 次審査を子ども読書活動推進会議委員の皆様と一身田中学校の美術教員の菊山先生にお願いする予定です。また、作品の展示については市内各図書館での展示と受賞した方の承諾をいただいた上で、津市書店商業組合加盟店での展示を予定しております。

以上で令和 5 年度の事業についての説明を終わります。よろしくお願いいたします。

岡山会長

はい、ありがとうございました。令和 5 年度の事業についての報告が終わりました。ご質問、ご意見等がありましたらよろしくお願いいたします。

安部委員

ちょっとフライング気味かもしれませんが、実施していただいた図書館のアンケートなんですが、Web でやったのはわかるんですが、いつどういう形で実施されたアンケートなんですか？

<事務局>

アンケートにつきましては、6 月 21 日から 7 月 10 日にかけて紙で各館に書いていただくようお願いしたのと、図書館以外であり利用されない方を想定して、公民館に配布をさせていただきました。

それと Web を利用する色んな人の声を聞くために、Web のグーグルホームでアンケートを、実施いたしました。

安部委員

ホームページ？

<事務局>

ホームページではなくて、QR コードを印刷したものを配布したりとか、高校や大学の学校にもポスターを貼らせていただきました。

安部委員

Web の場合は有効回答数が 212 件ですか。このアンケート結果は公表されますかね。

<事務局>

はい。その予定です。

安部委員

併せて意見要望へのリプライ（反応）というか、そういうものもされる予定ですか？例えば「DVD、CD 等を時間外に返却できるようにしてほしい」という意見ありますけど、これについての図書館の回答はされますか？

<事務局>

回答までは考えていません。

安部委員

でもね、アンケートってそういうことしないと意味ないですよ。ただ単にとるだけじゃ。なんのために書いたんだ、答えたんだみたいな。図書館へのニーズとか期待とかを知りたくて時間もらって、アンケートを答えてくれた方々への応答責任といいますかね。別に無理やり答えなくてもいいんですけど。

ただ答えられるのは答えるべきだと思いますし、これはちょっと今できませんでも十分回答になっていますよ。

その辺はちょっと検討してください。

でないとどんどんアンケートの声も届かなくなってしまうから。

これ別にここだけの話じゃなくて、アンケート全般でいえることなんですけど、本学でも教職員のニーズとか、大学のいろんなことに満足しているか？とか年に 1 回アンケートがあるんですけど、それにいろいろ書いても、応答もないと具体的にどうするんだ、どう

<事務局>
岡山会長

木原委員

していこうと思っってますとか、これは中長期的な課題でいますぐには対応できませんとか、そういう答え、リプライみたいなを出さない。

僕、リプライしっかりとしてくれないと書かないですよ。アンケート適当にやりますよ。でも、それだとそもそも最初の趣旨、目的から外れてしまうので。

ただ、いろいろ答えにくいものもあると思うのですが、ぜひ答えられるものは答える形で、前向きに検討してください。

はい、検討させてもらいます。

よろしくお願いします。他、どうでしょうか？

はい、木原さん、お願いします。

前半で子どもたちの読書離れの話が言われていますが、今利用して頂いてる方々は残念ながら、子どもたちは少なくて年配の方が多い。子どもたちのニーズと、今利用して頂いている方々のニーズはたぶん違うと思うんですよ。ただし子どもたちの利用が少ないからといって、子どもたちにフォーカスを当て過ぎて、今利用している方が利用しづらくなるのも少し違うとか思うので。

アンケートをとられていますけど、このアンケートで既存の利用者のニーズがどこにあって、新たにターゲットとしたい子どもたちのニーズがどこにあるのかを、もう少し見ていかないと何となく、これをどう活かしていいのかが分からないような気がして。

あと津市として津の中央の図書館はそうしていく、でも各市町にあるところは違うのか、それも一緒なのかってこともよくよく考えて、まずはどうしていくかを決めないと、アンケートとりましたけど、となってもなんとなく活かしづらいのかな、と言う気が正直します。

なんかアリバイ工作的なアンケートかなって気が、そんなつもりはないと思うんですけど、そんな感じがするので、回答もそんなにする気はなかったって聞くと、そもそも津市がどうしたいのか、今の利用者を大切にしたいというのであれば対応も変わるだろうし、そうではなくて若い人を取り込んでいかなきゃならないのであれば方向性も、もっと変わっていくだろうし。

その辺をまず決めてから、アンケートの方がいいんじゃないかなと思います。

岡山会長

はい、お願いします。

<事務局>	アンケートの中で年代とか書いてもらってありますので、若い世代のニーズがどこにあるか、そういう分析も同時に進めさせて頂きたいと思います。
岡山会長	はい、改正につながるような分析をよろしくお願いします。
和気委員	はい、お願いします。
1 時間 2 2 分 1 8 秒	今、レファ室に限らず図書館全体で、従来型の資料の提供中心というところから、資料から情報を得て情報へのアクセスを支援するという流れに変わっていて、先ほど若い人をもっと取り込んでいきたいというお話の中で、参考 1 の資料 3 2 P に 10 代の読書が遠ざかりやすい時期であってこそ顕著なんですけど、かなり読書、読書、読書となってくると一方で若者がメディアの形態をどこまで意識しているのか、読むということに対して例えばそのアマゾンなどにしても、オーディオブックを利用しているような学生もいますし、読書の形態っていうのは変わってきている中で、従来の紙の資料という所にかかなりこだわっているアンケートだったりするのが見受けられるかなと思いました。 もう一つ一方で若者の実態ってどうなのか、もう少し読書の形で多様化している、それに合わせたような計画の立て方、あとアンケートでも表現の選び方であるとか、そういった工夫が必要になってきているのかなあということを思いました。
岡山会長	アンケートについてはまた後ほどお話があるかと思いますので、またその時に。 ありがとうございました。 アンケートの方に話移っている部分もありますので (3) の亀山市立図書館の概要について事務局の方から説明お願いいたします。
<事務局>	失礼いたします、 それでは亀山市立図書館の概要について説明させていただきたいと思います。 昨年度の第 2 回の協議会の中で今年 1 月にオープンしました亀山市立図書館のご紹介になります。今年 4 月 17 日に教育長以下担当数名で現地も見学させていただいております。 資料の 1 p、先ほどにもお話がありましたように駅前の再開発事業に伴いまして一定の集客を見込める公共施設の誘導をすすめていたものでございます。 平成 28 年度より検討が進められまして令和 5 年 4 月 26 日に開館しております。 施設概要ですけれど、鉄筋コンクリート造りの 4 階建て、地下駐車場も含めた延床面積約 5000 平方メートルでございます。 その中で 1F から 4F に限りますと約 3000 平方メートル弱で津の図書館とほぼ同じような規模となります。 館の管理運営につきましては、開館時間は駅前に位置することから 9 時から 20 時までと長くなってございます。 また蔵書数につきましては約 17 万冊、23 万冊まで蔵書が可能と聞いております。ちなみに津の図書館は約 38 万冊、これと比べると多い開架状況にあると思います。 (3) の全体構成ですけれど、先ほど話がありましたけれど亀山市図書館の特徴と言うのが見られます。 1F2F は動のフロア、交流を深めるための会話等もできるスペースとなっております。 これに対して 3F～4F は静のフロア、集中して読書や学習ができ

る、このような施設となつてございます。

5 番目の新たな図書館サービスとしまして、図書の自動貸出・返却がでございます。利用者で端末を操作して図書の貸出・返却ができるものでございます。

また、パソコンやスマートフォンで学習室や閲覧室の予約ができるシステムもでございます。電子書籍につきましては最近導入する自治体も増えておりましてインターネットで電子書籍の閲覧・貸出サービスができるものでございます。

館内については、飲食ができます。

蓋つきの容器に入った飲み物と制限はございますけど、全館で利用できますし、飲食につきましても指定されたエリアではございますけれども利用が可能となっております。

その他閲覧室、1Fにございますけれども個室となっております。本の閲覧の他に不登校の児童等の一時的な外出での利用ということも

聞いています。

地方の情報の拠点という役割だけでなく、ゆったり過ごせる場であったり、津の図書館として時代に求められることに何ができるのかももう少し対応を検討したいと考えています。

以上で説明を終わります。

ありがとうございました。亀山市立図書館についての説明が終わりましたが、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

岡山会長

すみません。亀山のことで話させていただきました。即、こういう資料を配って頂いてありがとうございました。

入江委員

お忙しいのに恐れ入ります。ありがとうございます。以上です。すみません。

その他、どうでございましょうか。

行かれてみてどうでしたか？

岡山会長

お話を聞かせていただいていたので、想像はどんな感じでしたけど、まさに本当に駅の前なんです。

安部委員

森教育長

1 時間 3 0

分

単に図書館ということだけではなくって市民の憩いの場、そうなんですけど、あるいはもっと違うことかというと亀山へ来た方がちょっとした時間潰しができるような。近くにスペースがあって、そこに例えば喫茶室みたいなそんなのができるといいなということもおっしゃってみえましたし、何より言っていた小さな子どもを連れのお母さん・お父さん、保護者が気兼ねなく長時間居られるスペースがあって、若者たちも新しく斬新的なので、若者も景色も含めて色んな場所があって勉強する場所があったり、ちょっと行ってみようかなという気持ちになれたりします。

それまでは亀山市の図書館長に、別になりたくないと言っていたのが、今の図書館だったら図書館長になりたいよなど、希望者が多いと聞きますし、多くの人達から行ってみようかなと思われている。

それがたぶん大事ななと思っていて。津図書館 3F にちょっとしたスペースがありますよね。あそこは市民の喫茶店にもなっていて、あそこはものを食べたり子どもたちもあそこで勉強したりいろんなことやったりしています。あそこは騒ぐことはできませんけど、おしゃべりしたりして交流の場になっている。

とにかくいろんなニーズがあるので、全体のニーズをもちろん踏まえた上で、子どもたちが何を思っているのか、何を求めているのかなとまた別の問題として意見を聞きたいと思います。読書という

	ことと学力、学力というのは単なる知的なものではなくて、心の面も含めた学力をということを考えると大きく相関関係があります。 もっと言うと今年の全国学力学習状況調査の結果を見ても、本をしっかりと読む子と読まない子で大きく差があって、それをどうしていくのかなということと、あとその先ほど和気先生が言われた例えば今、オーディオって勝手に耳から入ってくる読書、それは例えば考え方なんですけど、若者たちはそれでいいかもわからない。 ただ子ども達を見たときに果たしてどうなのかと。読むということに価値があるのかな、とその考え方にも思うところがあったり、そのあたりはどんな風に考えているのかなとか。 あと時間がないと言いながら、ゲームとかそういうものの時間が圧倒的に多い。つまり時間がないこともあるんだけど、興味に関してそっちの方に行っている。 ではそれはどうすれば本の方へ行ってくれるのか。非常に悩ましいところではあるんです。ただ学校教育もそうですけど地域の方に一杯力をいただいて各学校の図書館も色々充実していると思うんです。 ただ図書館もそうですけど、子どもたちが来ないと。どうすれば子どもたちが来てくれるのかということを模索していかなければいけないので。 やっぱり何より子どもの意見を求める、子どもがどう考えるかは非常に大事です。その視点を大事にして行きたいなということです。
安部委員	亀山市の図書館、動のフロアとか、今までの考え方で行くと図書館って静じゃないですか。あえて動みたいだね。すごく斬新な感じがするんですけど。 どこからそのアイデアがそもそも出てきているのか、再開発が1つのプロジェクトなのは分かるんですけど、今までと図書館をガラッと変えようみたいな、どんな経緯なんですかね。
<事務局>	そういうのはご存じではない？ 駅前再開発に伴って図書館を持っていこうというのは聞いておりますけれど中身、コンセプトまでは、そこまでは分かりません。
安部委員	なんか非常に斬新な感じがするんですよ。保守的な考えだと何かアイデア出しても、潰されるというか図書館としてどうなんですか、みたいなことになりそうじゃないですか。それをこういう感じで実現して、今のところ成功しつつあるみたいな。 どういう経緯があって、あるいは一筋縄ではなかったと思うんですけど、どういう経緯でこれが実現したのかっていうのは何か、面白い構想だと思います。
<事務局> 1 時間 3 6 分	図書館建設の計画は平成28年からスタートして、かなり皆さんにアンケートとったりとかですね。フォーラムを開いたり、かなり色々なことをやってらした。その中の意見を集約して行ったんだと思います。
伊藤委員	電子書籍の貸出もやられてますね、亀山市さん。この辺ですと松阪とか玉城、伊勢市でやられる方もいます。それぞれ市内に在住在勤の方に貸出しという企画になっていると思うんですけど。 ここ亀山市の場合、津市、鈴鹿市、伊賀市、甲賀市も入ってますけどこれ、例えば私らが行っても借りられるんでしょうかね。
<事務局>	いいえ。図書の貸出・返却は津市とか甲賀市もできるのでしょうけれど、電子書籍に関しては市内在住に限られています。
和気委員	8月4日の日経新聞でも「みえる図書館活性化確認」という記事

がでていたりして、今複合施設化させて個々の機能を集約する、その中に図書館を中心的な役割として置き、子育て支援とか、1つ屋根の下で行う方法で成功した事例が出てきているのでそういった先行事例から発想を得たということだと思うんですね。

フロアーによってゾーニングするのが鍵になっていて動のフロアー、静のフロアーっていう本当にうまくゾーニングされているなと思うんですね。各フロアーの中で丸のモチーフの使い方うまいなと思うし、岐阜市のメディアコスモスを参考にされたのかなと思います。

運営については TRC（図書館流通センター）に委託していて、この辺だと松阪市や伊勢市も TRC となっているので、TRC 流の経営が多いのかなと思ったので、それ以外も見ていると参考になるのかなと感じました。

安部委員 ハード面ではこのままで既存で行きつつ、これをやったら良いのではというのがありますか。

<事務局> 多目的室みたいなのがあってですね。
講座の時もやってるんですけども、ボードゲームとか置いてそんなことで子どもたちを引き込めないかなあとと思います。

岡山会長 最後、図書館利用に関するアンケートについてということで事務局の方から説明よろしく願いいたします。

<事務局> それでは図書館利用にかかわるアンケートについて、資料4に沿って説明させていただきます。

津図書館では全館で令和5年6～7月にかけてアンケートを実施させていただきました。

現在集計中でございますので、その結果を示すことはできませんけども一部 Web を活用してアンケートを自動的に集計されますので、それを中間報告という形で報告させていただきたいと思います。

ちなみにアンケートの回収総数は Web の回答含めて 2,167 になります。

今回の調査や目的につきましては津図書館で図書館利用者の利用実態や要望について把握してサービスの向上に寄するためのものございまして前回アンケートを実施しました平成29年以降のですね、利用者の動向であるとか意識の変化そういうものも確認したいと考えております。

また図書館以外の公民館でも実施することによって、図書館を普段利用されない方にその要因の分析にも活用させていただきたいと思います。

また何度も出ていますけれど若い世代のご意見をいただきたいということでグーグルホーム・Web を活用したアンケートも実施させていただきました。

回答の結果についてご報告させていただきたいと思います。

問4につきましては回答者の年齢とか、問4から7につきましては利用の頻度・目的となっております。

問8が望まれるサービスとなっております、6の新刊や専門書、7の話題の本などの充実は図書館としてコアな部分であり、図書館利用者にとって希望が多いのは、当然の結果かなと思っております。

次に多いのは14の自動貸出返却サービス、それから自分の Web やパソコンで本が読めるというのもございます。

次に13の飲食や会話のできる環境が続きます津図書館の紙の

	回答を見ると、全部は把握してないんですけど、学習室の席の予約というのも多くあります。 問9の電子書籍サービスも、あれば利用したいという方が約7割と多くございますので、導入できれば利用者数の増につながるものと考えております。 問10の利用しない理由について、これは回答数が少なくてあまり参考にはならないのですが、紙の回答という中では本は買って読むものであるとかですね、あまり本を読まないというような回答が多い傾向がございます。 アンケートの結果につきましては、集計ができ次第動向や傾向などの分析を進めまして、改めてご報告をさせていただきたいと思っております。 この結果につきましては、システム更新など図書館運営に活かしていきたいと思います。 以上で図書館利用に関するアンケートについての説明を終わります。 ありがとうございました。
岡山会長	図書館運営のアンケートについての説明が終わりましたのでこれに関するご質問等ありましたらお願いいたします。
安部委員	アンケートの結果ですけど、感想みたいなのはどんなのがありますか。大体想定内ですか。
<事務局> 安部委員	そうですね、電子書籍とか今のWwbだったりします。 滞在時間についてはどうですか。こんな感じなんですか。僕なんか素人なので割と短いんじゃないかと。半分くらいの方が30分未満なので。 30分未満なので、なんかピンポイントで狙ってる本があって、借りてなんか返してっていう感じですよ。これ多分そういう利用が一番多いですよ。 年配の方が、なんか夏は朝からみえて滞在時間が短いのかな。平均1時間以内ですよ。短いからいいとか長いからいいとかそんな話じゃないですけど。 どういう目的で利用されてるのか、アンケートはずっととられてたんですか。
<事務局> 安部委員	平成29年にとっています。これ以降はとっておりません。 ある程度経年でたまっていると比較とかね、変化みたいなのが見えてきますね。
和気委員	先ほど言われたことと繰り返しになるんですが、読書の形態っていうのは変わって来ています。また、図書館だけでなく公民館、すごくいい試みだと思いました。潜在的利用者、今利用してないんだけど将来的に利用されるかも知れない方の意見も聞いて、図書館以外もそういう設定にしておいた方がありなのかなと思います。 あとすごい細かいところで恐縮なんですけど、調査の中でアンケート取ったりするんですけど、Aのあなたご自身についてなどパーソナルな質問は、研究で聞くときには一番最後にもっていったりする、いきなりパーソナルなことを聞くと身構えてしまう人がいるので、パーソナルなことは最後に聞くというのは研究で取るアンケートでは鉄則になっているので、そういったアンケート本などの書籍は沢山出ているので、そういったものを参考にされるといいかもしれません。
<事務局> 木原委員	ありがとうございます。次回には反映させていただきます。 アンケートはたぶん今の津市を想像してるから、このアンケート

安部委員

の設問だと思うんですけど、亀山市みたいなコミュニケーションのツールとして図書館をということであれば、そういう設問、図書館に何を求めますかとか、友達と遊びたいとか話したいとかで図書館を使いたいとか、もっと記入してもらった方がいいのか、津市が完璧にそれは無理だから、そっちには進まなくて専門書とか蔵書の量で勝負だというのならこれだと思うんですけど。そういう風に模索するのならば、形もちょっとあるのかなと思います。

津市がどうしていくのかということも含めて、このアンケートかなと思うのと、先ほどから子どもたちのことを教育長も言っておられたんですけど学校の子どもたち、学校の図書館でもいいのでどういう風に思っているのか、それと小学校と中学校でとっていただくと見えてくるものがあるんじゃないかなと思いますので、是非学校でも子どもたち、グーグルホームでアンケートしていただければと思います。

中長期的な話になると思うんですけど、再開発みたいなのがあるかどうか分からないですけど、ずっとこのハードのままでという訳にも行かないじゃないですか。

先々の話でしょうけど、先の亀山市の話のとおりいざ建て替えという話になった時もアンケートをしっかりと市民のニーズをちゃんと実は拾ってたんだということになれば、いざそういう話になった時にそれはそれで強いデータになるはずですから。

なのでいろいろ他の業務もお忙しいでしょうけれど、中長期的な観点でアンケートの方も、皆さんの出されたいろいろなアイデアも全て含んでごもっともだと思いましたし、またスタッフの方々に揉んで頂きながら、そういう先々のことをイメージしながらアンケートの方、積み上げをやっていただけると芽が出る、明るい未来に繋がっていくんじゃないかなと思います。

岡山会長
和気委員
1時間55分

他にご意見は？

図書館で取るアンケートにはいろんな種類がありまして、期待値としてこれぐらいは期待する、しかし現状はこの程度で、できればこの位のサービスが欲しいという期待値も合わせて聞くような聞き方もあるんですね。そういうアンケートの方法もあるので、目的によると思うんです。

アンケートを取る目的次第では、先ほどおっしゃっていたような将来的、中長期的なビジョンを組み立てていくために、エビデンスとしてアンケートの目的をいろいろ聞いてますので、私も微力ながら何かお手伝いできることがあるかもしれませんので、何かあればお声がけください。

岡山会長

また教えていただけると有難いですね。それでは最後に事項書5のその他の事項ですが、何かございますか。

洞口委員

はい、よろしくお願いいたします。

いつもお世話になって、ありがとうございます。

私は図書館を利用させていただく一市民ですけどなかなか専門的なことも分かりませんし、そういうことをお話することもできませんし、いろんな新聞とかテレビとかそんなところから本にまつわることがあれば、切り抜いたりとかメモしたりとかそんなのを読み上げさせてもらってよろしいでしょうか。

「本の未来を守りたい」ということなんですけど、若者に読書や言葉の大切さを伝えていこうと、作家の今村翔吾さんが一般社団法人本未来を立ち上げ同誌図書館でキックオフイベントを開いた。昨年3月に設立今年から本格始動した、今村さんが代表理事に就き、作

家やアナウンサーら6人が理事を務める。今村さんは読書時間の減少など、出版界の厳しい状況に触れながらいろんな角度から本にまつわるすべての力を注ぎ、本の未来を守りたいと説明した。

まずは小中学校で作家らが本の魅力や選び方を話したり、若手作家を支援するため地方文学賞の復興を手助けしたりする。講演会もあり今村さんがおすすめの50冊を披露、レビューや直木賞受賞の連名や同じ池波正太郎さんは、圧倒的に影響を受けたとして鬼平犯科帳など6冊をあげた。池波先生のように時代小説と歴史小説の両方を書く作家は、意外と少ない。僕はそれが当たり前と思っていたので、二刀流となったと話した。

他にもいつか正面から挑みたいという司馬遼太郎など、国内外28人の作風や逸話を紹介した。読書は自分が経験出来なかった人生を経験できる作家と読者の2人で作る娯楽であり芸術であり、文化であると考えを述べた。

ちょっと私も感動しました。読書の中から自分の人生はこういうものだ、ある程度の年齢になれば、経験とかそんなのもあるんですけど、若い子たちにその経験を求めるということも大変ですけど、でもどういう風な内容においてもその人生の経験が読書からいただけるもの、また自分たちがしてきた経験と2つできるので、読書って本当に大切だなとかありがたいとか感じさせていただきましたので、読書、もっともっと普及していかなければと、そんな思いで発表させていただきました。失礼いたしました。

岡山会長

ありがとうございました。事務局の方から特にありませんか。他にご質問ご意見等よろしかったでしょうか。それではこれで本日の議事を終了いたします。

今後もより良い図書館の実現に向けて協議して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局の方からご挨拶があればよろしくお願いいたします。

<事務局>

本日はありがとうございました。皆様のご意見をいただきながら、今後もより良い図書館運営に向けて努力して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

岡山会長

これをもちまして令和5年度第1回図書館協議会を閉会いたします。

本日は長時間に渡り、ありがとうございました。お気を付けてお帰りください。

